

## 令和6年度9月 理事会議事録

### I 概要

- 1 日 時：令和6年9月8日（日） 13：00～15：00
- 2 場 所：笠松運動公園アーチェリー場
- 3 出席理事：根本、大塚、和智脩（補助：蒲沢）、横山（補助：和智利奈）

### II 議事要旨

- 1 国スポ（関ブロ関連事務含めて）
  - ・11月3日発、（7日メダルマッチまで行くことを前提に）8日帰県予定
  - ・監督は長谷川さん、支援コーチを大塚さんとした。
  - ・事業費は大谷さん出席の理事会で検討する。
- 2 （仮）スポーツ教室の開催について
  - ・名称は別途検討
  - ・11月16日、23日、24日を実施日とし、11月30日を予備日とする。
  - ・予備日が不足する場合は別途調整する。
  - ・参加費は笠松運動公園主催と同額の4,500円/人とする。
  - ・ホームページには10月26日UPとする。
  - ・笠松運動公園主催教室落選者への通知について、協力を公園に依頼する。
- 3 育成中の指導方法見直しについて（10m バッジの交付、「新しい弓具」の貸出等）
  - ・「新しい弓具」の扱いは10月理事会で検討する。
  - ・初心者練習時間内の扱いとし、詳細の原案を作成する。（担当：大塚）
  - ・正規の認定と同様の価値・信頼度となるよう案に詳細を盛り込む。
  - ・できるだけ早く実施に持ち込めるよう、次回理事会を待つことなくメールで持ち回り稟議とする。
- 4 射場利用等の見直し
  - ・笠松運動公園の担当者に協議依頼書（別添資料①「アーチェリー場倉庫管理と利用の周知について（依頼）」）を提出し、協議および競技内容について打診する。  
（担当：和智脩）

5 新3級審判員の育成について

- ・今年度公認記録会に参加を求めるものとし、割振り案を審判部（大塚）が作成する。
- ・各公認記録会の開始前に実践上の留意点について、レクを行う。
- ・「第4回公認記録会」は、大塚さんが茨城県アーチェリー協会から派遣審判員として参加する全日本フィールド大会と同日となる。今回、審判員が決まっておらず、理事会当日に小野寺さんを委員長候補とし、ほかに和智利奈さんをお願いした。

6 令和7年度の執行体制について

- ・会員に参加を求めるためにも、業務の洗い出し（分析）を9月30日までにメールで各理事等に回すものとする。
- ・特別会計の処理についても検討する必要性について認識を一致させた。

以上

令和6年9月 日

笠松運動公園管理者 様

茨城県アーチェリー協会  
会長 中川 喜久治

## アーチェリー場倉庫管理と利用の周知について（依頼）

秋暑の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、コロナ禍において制限しておりました初心者指導等ですが、昨年度から体験会や教室などを復旧してきたとことです。これに伴い、新たにアーチェリーを本格的に学びたいとの希望者が増加傾向にあります。このような中、当協会も希望者に対し可能な限りの便宜を図ってまいり所存ですが、一方では競技の特性上から安全管理の徹底も必要となります。

このような観点から、アーチェリー場の管理につきまして、下記により倉庫の管理と射場の利用にあたっての注意事項などについて、改めて協議いただきたく、お願い申し上げます。

### 記

#### 1 協議事項

##### （1）倉庫管理について

協会練習日（団体貸し出し）日を除いて、鍵の貸し出し者を限定することでケガや事故などを予防していきたいと考えております。

##### （2）（1）に関連し、射場利用の注意事項等について HP 上での掲示内容の変更を合わせてお願いいたします。

#### 2 実施時期

貴職と協議のうえで定めてまいります。

#### 3 連絡先（担当者）